

「昭和 100 年」ロゴデザイン使用にあたっての禁止事項

- 一 「昭和 100 年」関連施策の推進以外の目的に使用すること。
- 二 デザインガイドラインに反してロゴデザインの変型、縦横比率及び色の改変等を行うこと。
- 三 法令及び公序良俗に反すると認められる方法で使用するすること。
- 四 使用者が提供する物品、サービス等の品質・安全性を保証し、又は保証すると誤認させるような方法で使用するすること。
- 五 不当な利益等を得るおそれがあると認められる方法で使用するすること。
- 六 昭和 100 年室に虚偽の申請をして使用するすること。
- 七 前各号に掲げるもののほか、「昭和 100 年」関連施策の推進の趣旨に反し、又は品位が損なわれるおそれがあると認められるような方法で使用するすること。

# 「昭和100年」関連施策のロゴデザインガイドライン



## はじめに

本ガイドラインでは「昭和100年」関連施策のロゴデザインを使用されるあらゆる制作物において、一貫した使用をしていただくための色や形、使用方法を規定しております。

内閣官房「昭和100年」関連施策推進室

## CONTENTS

- 1. カラー表示（フルカラー）
- 2. 背景色（フルカラー）
- 3. カラー表示（モノカラー）
- 4. 保護領域
- 5. 最小使用サイズ
- 6. 使用禁止例

## 1. カラー表示 (フルカラー)

### ①ブラック



CMYK:0% / 0% / 0% / 100%

R G B : 0 / 0 / 0

Web # 000000

### ②レッド



CMYK:0% / 100% / 100% / 0%

R G B : 229 / 0 / 18













Web # E50012



## 2. 背景色（フルカラー）

ロゴデザインのレイアウトには、背景色(写真などを含む)と同化し視認性が大きく損なわれる場合や、ハレーション(ちらつき・不快感等)がおこる背景には十分考慮しなければなりません。図に示す表示可と不可の判断を参考にしつつ実際の色調で判断してください。

媒体の属性や特性により、本項目に明記されている以外の対応が適切と考えられるケースにつきましては、都度確認をとっていただくようお願いいたします。

	高明度	中明度	低明度
無彩色			
赤系			
緑系			
青系			

※「\」白い斜線の組み合わせは表示不可

### 3. カラー表示 (モノカラー)

#### ① ブラック

CMYK:0% / 0% / 0% / 100%

R G B : 0 / 0 / 0

Web # 000000

#### ② ホワイト

CMYK:0% / 0% / 0% / 0%

R G B : 255 / 255 / 255

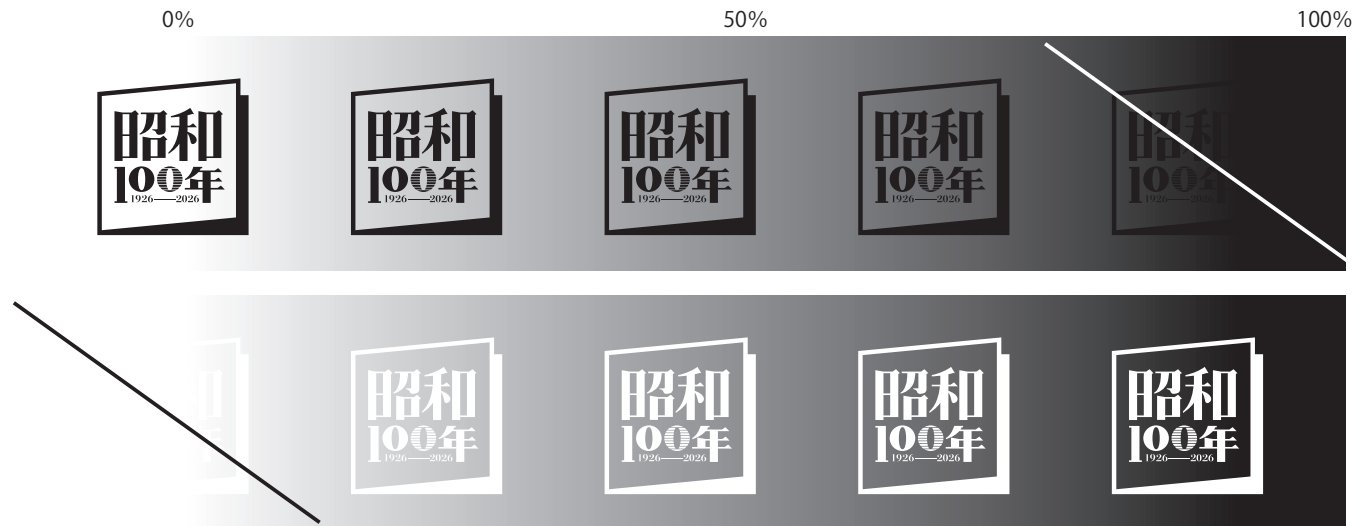
Web # FFFFFFFF

基本的にフルカラーのデータ使用を推奨しますが、単色印刷などの場合はこちらのデータをご使用ください。

また、レイアウトに際しては視認性を確保できるように、背景色の明度を確認のうえで使用ください。



明度比較表



※「\」斜線の組み合わせは表示不可

#### 4. 保護領域

ロゴデザインの視認性と独立性を保つため、ロゴデザインの周囲に保護領域を設定しています。ロゴデザイン配置の際にはこの領域内に原則として他の要素を表示することはできる限り避けてください。

保護領域はロゴデザインの横幅を基準の「a」とし、周囲に0.1a分のスペースを確保ください。



## 5. 最小使用サイズ

ロゴデザインの視認性を維持するために、最小使用サイズよりも小さいサイズでの使用は避けてください。



20mm

## 6. 使用禁止例

このページでは、ロゴデザインを表示する上で禁止とするものを例示しました。  
一貫したイメージ展開を損なわないためにも、例示のようなロゴデザインの使用は避けてください。

ロゴの太さや大きさを変えてはいけません。



他の要素を近づけすぎてはいけません。



アウトライン表示をしてはいけません。



ロゴの色を変えてはいけません。



ロゴをトリミングしてはいけません。



変形してはいけません。



印刷物等において別の立体表現に変更してはいけません。



不明瞭な表示をしてはいけません。



保護領域内に枠を設けてはいけません。

